

2013年 6月 5日

2012年度 事業報告書

(2012年4月1日～2013年3月31日)

公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団

2012 年度 事業報告書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

・事業の概況

4月1日に、内閣府より認定をいただき、公益財団法人として新たなスタートを切った。また、6月には、財団の名称をアサヒグループ芸術文化財団と改め、グループ全体で支援する財団という位置づけを内外に表明し、決意も新たに、わが国の芸術文化活動を支援、振興する事業に取り組むこととなった。

当財団は、美術・音楽などの芸術分野での有効適切な助成活動を行うとともに、地域振興に寄与する活動への支援、芸術家等の国際交流の促進に貢献し、あわせて芸術資産を活かしながら芸術創造の支援をするため、アサヒビール大山崎山荘美術館の運営等の文化事業を行っている。

当財団の事業活動は、アサヒビール社のメセナ活動の理念でもある、次の三点に重点を置いている。

- ・若手の発掘支援、同時代の活動の発掘支援による新たな芸術文化の創造に寄与すること(未来)
- ・市民の積極的な参画により、幅広く市民のアトリテラシーの向上に寄与すること(市民)
- ・芸術文化による地域創造を視野に入れ、地域における文化振興に寄与すること(地域)

本年度も、以上の観点をふまえ、財団とアサヒビールの文化活動戦略との連携を一層強化して、以下の事業を実施した。

また、東日本大震災の被災地支援として、当財団がアサヒビール社との連携により実施している「アサヒ・アート・フェスティバル」の参加プロジェクトを通じて、引き続き全面的な協力を行った。

1. 助成部門

1) 芸術活動助成

「事業の総括」

芸術活動助成では、若手アーティストの支援、芸術環境整備、創造プロセスへの支援といった観点を柱に、事業活動を心がけた。

この結果、引き続き、地道ながら一定の寄与ができたものと考えている。

「事業の概要」

当財団の事業活動の主要分野である美術・音楽・舞台芸術分野への活動助成は、合計44件、13,500千円であり、計画通り実行した。

あわせて、国際交流支援事業として実施している「芸術家等交流事業助成」は、12件、5,600千円であり、計画通り実施した。

また、市民協働の観点から芸術NPOへの助成と、専門機関とのネットワーク強化の観点から実施している文化機関、文化施設助成は、あわせて16件8,300千円で、いずれも計画どおり実施した。

これらの助成活動は次のとおりで、当期の助成件数は総計77件、助成金は29,000千円である。

なお、当財団の創立以来の助成累計は、本件を含め1,143件、10億0,544万円となる。

平成24年度助成内訳

件名		助 成	
		件 数	金額(千円)
芸術活動助成	美 術	12	3,900
	音 楽	10	3,100
	舞台芸術	22	6,500
小 計		44	13,500
芸術家等交流助成		12	5,600
アートNPO・文化機関・文化施設助成		16	8,300
その他の助成		5	1,600
小 計		33	15,500
合 計		77	29,000

2) 芸術文化活動の実施

「事業の総括」

芸術文化の総合的な振興のため、アサヒビールの公益性の高いメセナ活動と連動して、芸術活動の自主企画を財団として実施している。

全国各地域のアートNPOを中心に、幅広く芸術文化振興機関等との連携を重視して事業を実施し、地域資源を活用することで、地域連携による芸術文化振興と地域創造の相乗効果の期待できる活動を企画あるいは参画してきた。

「アサヒアートフェスティバル(AAF)」事業は、当年度も北は北海道から南は沖縄まで、全国各地でプログラムを展開したが、こうした地域のアートNPOを支援してきたAAFの活動が評価され、企業メセナ協議会から「メセナ大賞」を受賞した。アサヒ・アート・フェスティバル(AAF)の参加団体も、他の文化振興機関から高く評価されている。

「すみだ川アートプロジェクト」事業においても、参加の美術家がこれを機にめざましい活躍を示していることなど、芸術文化振興の基盤整備における一定の寄与をしているものとする。

あわせて、地域における芸術文化振興と地域創造にも寄与し、全国の自治体からも、当財団の活動は注目されている。

「事業の概要」

本年度で第11回目を迎えた『アサヒ・アート・フェスティバル(AAF)』(6月16日～10月14日)に、本年度もアサヒビール社と連携して参画し助成した。本フェスティバルは、アサヒビール社が、全国のアートNPOと協働して実施しているもので、51のプログラムを全国各地で開催、実施した。

例えば、東日本大震災の傷跡も未だ癒えない宮城県・南三陸町での「福幸きりこ祭」が開催され、町の復興の過程における地域住民の心の支えとなることを願い、元気と勇気を与えるべく、伝統的な神棚飾り「きりこ」創作のワークショップを行い、その作品を展示し、町内、全国の人々との交流の機会を創出した。

未曾有の大災害に対しては、今後も芸術文化活動で継続的な支援を行っていくことにしている。

平成21年度から開始した「すみだ川アートプロジェクト」は、より一層の地域密着を明確にするためスタートした

もので、隅田川の多様な可能性をアート活動で探ることを目的に、80年後をゴールとしたプロジェクトである。

本年度は、専門家と市民の協働で、すみだ川音楽解放区(7月21日)として地元の中学生のブラスバンド等も参加したパレード等を実施、また、6月16日から7月31日まで「江戸を遊ぶ - 北斎漫画2089 - 」と題して地域住民や観光客をも巻き込んだ様々な企画を実施した。

本プロジェクトは、墨田区と共催し、企業メセナ協議会に全面的な企画協力を頂いている。

2. 美術館運営部門

「事業の趣旨」

当財団は、平成8年(1996年)から、アサヒビ - ル社より「アサヒビ - ル大山崎山荘美術館」の運営を委託されており、これに伴い、美術館運営事業を行ってきている。

所蔵品・建物・自然環境という大山崎山荘美術館ならではの資源を活かし、関西はもとより、広く芸術文化の拠点として、情報発信に努めている。

「事業の総括」

大山崎山荘美術館は、平成24年度で開館17年目を迎えた。

事業に関しては、新聞、雑誌、テレビ等、マスコミに多数取り上げられ、常にきわめて高い評価を受けている。

美術館のブログを通じて、四季折々の情報をタイムリーに発信することに努めるなど、ホームページを充実させた。

美術館の機能拡充工事が完了した5月31日に、グランドオープン式典を緑溢れる美術館庭園で開催した。京都府の山田知事をはじめ、行政関係者、マスコミ、美術館関係者、観光業者など約400名の方々に集まりいただき、改めて当美術館の魅力を再認識していただく機会となった。また、オープン記念として、荒巻前京都府知事や工事を設計いただいた安藤忠雄氏らのセミナーやシンポジウムを開催し、多くの地元住民の方々に聴講いただいた。

地元小学校を対象にした出前授業、美術館での招待授業など、地域との連携による教育普及活動についても引き続き実施している。

このように本年度は、ソフト、ハードの両面で、次なる飛躍のための基礎固めの年となった。

集客面では、82,223人の来館者となり、前年比108%となった。

「事業の概要」

[企画展]

機能拡充工事後の終了後、3月3日からプレオープン展として、「蘭に見た、夢 蘭花譜の誕生」展を皮切りに、グランドオープン記念「美の再発見」展、前期・後期、「うつわのちから」展、前期・後期、そして現在の「フラワー・オブ・ライフ」展と、6回の企画展を開催した。

新設した多目的ホール「夢の箱(山手館)」では、初めての試みとして、記念のセミナー、シンポジウムを開催し、前京都府知事の荒巻氏や今回も設計をいただいた安藤忠雄氏のセミナー講演などを実施した。これは、京都府からも要請を受けている生涯教育活動の一環ともなるもので、地元大山崎町をはじめ京阪神地域の美術や文

化に関心の高いたくさんの方々に聴講いただいた。

企画展やこうした活動を通じ、地域文化の再発見・活性化にも寄与できたものと考えている。

[広報、地域連携等]

広報の強化および地域との連携の観点から、地元の二つの小学校を対象に、出前授業や美術館に招くワークショップを今年も継続実施した。

新設した「夢の箱」ホール脇の庭園には、地元桂高校の高校生の手で、1000年以上自生している奈良・若草山のノシバを植栽し、日本古来種の芝による緑の絨毯を創出することで、絶滅が危惧される日本古来種の保存に役立てることにしている。

美術館のホームページでは、お客様への発信をより一層タイムリーなものとするべく、ブログに力をいれ、庭園の桜や池の睡蓮の開花情報、天王山の四季折々の植物の情報など、こまめな発信に努めている。

主たる事業の日程

年	月	日	項目	適用
24	4	1	新公益法人制度による財団運営の開始	
	4	1	大山崎山荘美術館 企画展	「蘭に見た夢 蘭花譜誕生」(～5/27)
	5	31	大山崎山荘美術館 グランド・オープニング	企画展「大山崎山荘と白樺派の人々」(仮称) (～10/21)
	6	4	第1回 理事会	平成23年度事業報告・決算書類承認の件 業務執行理事の選定の件
	6	4	定時評議員会	平成23年度事業報告・収支決算の承認 定款変更(財団名称)の件 評議員選任の件 理事選任の件
	6	6	大山崎山荘美術館 企画展	「美の再発見展 - 前期 - 」(～7/25)
	6	16	アサヒ・アートフェスティバル	全国51ヶ所の公募PJを中心に展開(～10/14)
	6	16	すみだ川アート・プロジェクト	『江戸を遊ぶ』(北斎漫画2089)(～7/31)
	6	20	財団案内作成	平成24年度版
	6	22	文部科学大臣	2011(平成23)年度 事業報告届 提出
	7	4	内閣府公益法人行政担当室	財団役員変更届 財団名称変更届
	8	1	大山崎山荘美術館 企画展	「美の再発見展 - 後期 - 」(～10/14)

	10	19	大山崎山荘美術館 企画展	「うつわのちから展 - 前期 - 」(~ 1/14)
	11	15	助成先報告会	20 団体が参加、実施状況の報告
	12	29	第 2 回 理事会	美術工芸品の基本財産組み入れの件
25	1	4	第 3 回 理事会	選考委員 9 名選任の件
	1	17	大山崎山荘美術館 企画展	「うつわのちから展 - 後期 - 」(~ 3/10)
	2	12	選考委員会	美術部門案件の選考
	2	18	選考委員会	音楽部門案件の選考
	2	26	選考委員会	舞台芸術部門案件の選考
	3	4	第 4 回 理事会	平成 25 年度事業計画・収支予算の承認 平成 25 年度助成・選考委員会答申書承認 経理規程、選考委員会規程、委員の報酬の規程、助成規程 承認
	3	16	大山崎山荘美術館 企画展	「フラワー・オブ・ライフ展」(~ 6/2)
	3	21	内閣府公益法人行政担当室	2013 年度事業計画書 届出

. 処務の概要

1. 役員等に関する事項

役員、評議員及び選考委員の異動

平成24年度中の財団人事は、次の通り。

・平成 24 年 6 月 4 日	評議員	退任	殿塚 宜弘
平成 24 年 6 月 4 日	評議員	選任	丸山 高見
平成 24 年 6 月 4 日	理事	退任	山本 爲久
平成 24 年 6 月 4 日	理事	選任	竹田 義信
・平成 24 年 6 月 4 日	業務執行理事	退任	山本 爲久
	業務執行理事	選任	竹田 義信
・平成 25 年 1 月 4 日	選考委員	選任	伊東 正伸
	選考委員	選任	大西 若人
	選考委員	選任	薩摩 雅登
	選考委員	選任	建畠 哲
	選考委員	選任	奥田 佳道
	選考委員	選任	沼野 雄司
	選考委員	選任	望月 京
	選考委員	選任	大加 章雅
	選考委員	選任	岸田 真

平成24年度末の現職役員、評議員及び選考委員は次の通り

役職名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	主な職業	備考
代表理事	荻田 伍	2012-04-01	本法人代表	-	アサヒグループホールディングス 会長	2006-04-01
業務執行 理事	竹田 義信	2012-06-04	業務全般	-	< 財団常勤 >	2012-06-04
理事	堤 清二	2012-04-01		-	セゾン文化財団 理事長	1989-03-31
同	尾崎 正明	2012-04-01		-	京都国立近代美術館館長	2012-04-01
同	竹内 順一	2012-04-01		-	永青文庫館長	2012-04-01
同	岡部 真一郎	2012-04-01		-	明治学院大学教授	2012-04-01
同	吉井 澄雄	2012-04-01		-	日本照明家協会名誉会長	1989-06-30
監事	森田 松太郎	2012-04-01		-	森田公認会計士事務所	1989-03-31
同	掛貝 幸男	2012-04-01		-	アサヒグループホールディングス 常勤監査役	2011-04-01
評議員	末松 謙一	2012-04-01		-	三井住友銀行 名誉顧問	1995-04-10
同	櫻井 修	2012-04-01		-	住友信託銀行 特別顧問	1989-06-30

同	大崎 仁	2012-04-01		-	人間文化研究機構	1989-04-01
同	三角 哲生	2012-04-01		-	二階堂学園 理事長	1989-03-31
同	根津 公一	2012-04-01		-	東武百貨店 会長	2002-06-20
同	高嶋 達佳	2012-04-01		-	電通 会長	2012-04-01
同	前田 新造	2012-04-01		-	資生堂 社長	2012-04-01
同	大林 剛郎	2012-04-01		-	大林組 会長	2012-04-01
同	丸山 高見	2012-06-04		-	アサヒビール常務取締役	2012-06-04
同	内藤 規夫	2012-04-01		-	アサヒビール大山崎山荘美術館館長	2011-04-01
選考委員長	内藤 規夫	2013-01-04		-	〃	2011-04-01
選考委員	伊東 正伸	2013-01-04		-	国際交流基金文化事業部 企画役	2013-01-04
同	大西 若人	2013-01-04			朝日新聞編集委員	2013-01-04
同	薩摩 雅登	2013-01-04			東京芸術大学教授	2013-01-04
同	建畠 哲	2013-01-04			京都市立芸術大学学長	2013-01-04
同	奥田 佳道	2013-01-04			音楽評論家	2013-01-04
同	沼野 雄司	2013-01-04			桐朋学園大学准教授	2013-01-04
同	望月 京	2013-01-04			明治学院大学准教授	2013-01-04
同	大加 章雅	2013-01-04			NHK制作局主幹	2013-01-04
同	岸田 真	2013-01-04			桜美林大学准教授	2013-01-04

2. 職員に関する事項

新任事務局員 花島 恭子 財団運営担当

3. 役員会等に関する事項

(1)理事会

開会年月日	議事々項	会議の結果
2012-06-04	第1回 理事会 2011(平成 23)年度 事業報告及び決算書類の承認 業務執行理事の選任 業務状況報告	原案通り承認された。
2012-12-29	第2回 理事会 山本爲久氏寄贈の美術工芸品の基本財産組み入れについて	原案通り承認された。
2013-01-04	第3回 理事会 当財団の助成選考委員会委員の選任について	原案通り承認された。

2013-03-04	第4回 理事会 2013(平成25)年度事業計画書及び収支予算書等承認 2013(平成25)年度助成・選考委員会答申書承認 経理規程、選考委員会規程、委員の報酬等の規程、助成規程の承認 業務状況報告	原案通り承認された。 原案通り承認された。 原案通り承認された。
------------	---	--

(2)評議員会

開会年月日	議事々項	会議の結果
2012-06-04	第1回 評議員会 2011(平成23)年度 決算書類の承認 定款変更 評議員の選任 理事の選任	原案通り承認された。 原案通り承認された。 原案通り承認された。 原案通り承認された。

4. 許可、認可及び承認に関する事項

該当事項なし

5. 契約に関する事項

{山手館増設に伴うアサヒビール社との使用契約}

2012年9月1日付け 「アサヒビール大山崎山荘美術館」等の使用に関する契約書締結

6. 寄付に関する事項

寄付の目的	寄付者	申込み金額	領収金額	受入年月日
助成活動運営資金	アサヒグループホールディングス株式会社	70,000,000 円	30,000,000 円	2012-05-31
			30,000,000 円	2012-07-31
			10,000,000 円	2012-09-28
	年度合計	70,000,000 円	70,000,000 円	
美術館運営資金	アサヒグループホールディングス株式会社	55,000,000 円	20,000,000 円	2012-05-31
			20,000,000 円	2012-07-31
			15,000,000 円	2012-09-28
	年度合計	55,000,000 円	55,000,000 円	

芸術文化財団合計	125,000,000 円	125,000,000 円	
----------	---------------	---------------	--

7. 主務官庁指示に関する事項 該当事項なし

8. その他 重要事項 該当事項なし

附 属 明 細 書

平成24年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規程する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成25年6月

公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団

以上